

# 特集：施術者が注意すべきテープワーク（テーピング） Ver2.0

まつげエクステを装着する際に行うテープワーク（テーピング）。刺激に対して敏感な顧客に施術する場合、「柔らかく、粘着力の弱い医療用テープ」を使用しても、粘着剤の反応、剥がす際の刺激（機械的刺激）、粘着成分の刺激（化学物質による刺激）によって、皮膚かぶれ（医学的には接触性皮膚炎）が起きる可能性があります。

この特集の目的は、テープの粘着力を弱めたり、粘着面が皮膚に触れる面積を減らすことで皮膚かぶれのリスクを回避するための知識を得ることです。（前提：テープの粘着剤はテープ側との粘着相性が良いので、何かに貼り付けたからといって簡単に粘着成分が剥離するものではない）

## まつエク施術の流れ



1 体調やまつげの状態を確認。ご希望イメージなどをお聞きし、最適なデザインの提案をするカウンセリングを行います。

2 ベッドに仰向けになって目を閉じます。下まつげがくっつかないようにやさしくテープで保護します。

3 まつげやまつげの生え際に付着しているホコリ・皮脂汚れ・メイクの残りをていねいに取り除きます。

4 まつげ表面に風をあてて水分を乾かします。人工毛を装着する際にも、目に見えない揮発物質を遠ざけるために風をあてます。

5 地肌にグルーを付着させずに、1本のまつげに1本の人工毛をていねいに、正確に装着していきます。

6 すべての人工毛を装着し終わったら、毛の向きをコームで整えます。テープをやさしくはがしたら、施術完了。

## AorB どちらが理想的な方法か？

テープの粘着力を弱めたり、粘着面が皮膚に触れる面積を減らす方法として、実際の施術者が行っている手段は2つ存在しています。（テープの代替としての目元保護ジェルシートの使用を除く）

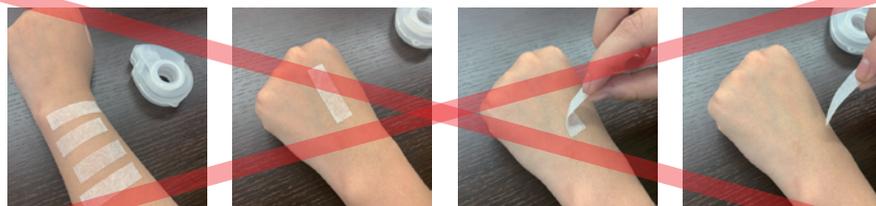
A「ワセリンなどの化粧品を使用する方法（目元に塗る際は、指ではなく清潔な綿棒等を使用する）」 ※推奨

B「施術者の手の甲などに貼り粘着性を低下させる（脂質や角質の付着、毛穴の汚れが付着する恐れがある）」 ※推奨しない

手の甲に貼ったり、人の角質でテープの粘着力を弱めることは推奨しない。

NG

施術者が皮膚疾患等を持っている場合もあり、施術者の皮膚細胞がお客様の皮膚に直接接触することは避けるべき



貼り剥がしをすることで粘着力を弱める

## まとめ

施術前の手洗い・手指消毒は必ず行うことを前提としても、消毒の有無に関わらず、手の甲や腕にテープを貼り、角質でテープの粘着力を弱める行為は、眼病・皮膚病罹患の危険性があります。衛生面から考えても、ワセリンなどの化粧品を使用することをおすすめします。（ワゴンなどに貼り付けて下準備をする等も避けましょう。）